

めざせ「ソーシャルナース」!

社会的入院を 看護する

石上 雄一郎
飯塚病院連携医療・緩和ケア科

本来は入院加療の適応でない患者の長期入院を指す社会的入院。患者の医療的課題のみならず社会的課題もケアするために、看護師はどのような視点を持つべきか。医療と社会福祉をつなぐ「ソーシャルナース」(筆者の造語)になるために、看護師が押さえておくべき社会的入院の要点を解説します。

第10回 意見の対立をどう乗り越えるか? ②家族が医療者の場合



85歳女性。認知症の進行がみられ、次男が以前から介護をしていた。肺炎の治療で入院し、入院5日目に病状が悪化した。病状が悪化した当日に家族面談を主治医が行ったところ、患者本人は話すことができなかった。次男と話し合いを行い、抗菌薬投与と点滴のみで侵襲的な治療を控える方針となった。しかし翌日、医師である長男から「助かる見込みがあるなら人工呼吸器をつなげてください」と病棟に電話がかかってきた。

今回のように介護を行っている家族と意思決定をする家族が異なることはよく経験する。こうしたことを防ぐために、大事な治療方針を決める話し合いを行う時には「他にこのことを話しておきたいご家族はいませんか」「遠方に住んでいるご家族で話し合いにかかわりたいという方もいらっしゃいますが、いかがでしょうか」と、目の前にいる家族の他に意思決定にかかわる可能性がある家族がないかを確認することが必要だ。今回は、家族が医療者の場合にどのようなことに配慮したら良いかを考えていきたい(図)。

「同じ医療者なのになぜ?」という自分の感情に気づく

冒頭のようなCASEでは「同じ医療者なのに、なぜ本人のためにならない治療を要求するんだ。信じられない」と医療者が愚痴をこぼすことがある。陰性感情から家族と話したいと対話を回避してしまい、「医師である家族が希望しており、もめても仕方がない」と先方の要求を飲んでしまうこともあるかもしれない。

しかし、本当は最善の治療ではない

と医療者が思いながらケアにあたる時、モラルディストレス(註)を抱えてバーンアウトしやすくなることが知られている¹⁾。したがって、家族が医療者で先方との意見の対立や治療方針の相違がみられた際は、まず施設側の医療者が自らの陰性感情に気づき対立に向き合うことから始めよう。

一人の家族としての医療者の苦悩に共感する

医療者、特に医師は一般的・倫理的には自分や家族の治療をすべきではないと言われているものの、実際は不適切に関与していることが知られている²⁾。このことからわかるように、医師(医療者)である家族には、「家族」と「医師(医療者)」の2種類の役割(属性)が存在する。家族の役割としては、献身的に親孝行をしたいという希望や、「まず●●の意見を聞こう」といった他の家族からの医師としての期待を感じている。一方、医師の役割としては、良心的な医師でありたい、他の医師に対してきちんとした治療を提供してほしいと期待することがある³⁾。つまり、医療者は家族が病気になっ

- ① 「同じ医療者なのになぜ?」という自分の感情に気づく
→自らの陰性感情(怒りなど)に気づき、コンフリクトに向き合おう
- ② 一人の家族としての医療者の苦悩に共感する
→「家族」と「医療者」の両方の役割を周囲から求められている
- ③ 配慮するポイントを押さえる
→医療者の背景、病院・専門・病院での文化や慣習について好奇心を持って聞く
→どの程度意思決定にかかわりたいかを探る
→実際に相手と話をする。状態を見てもらうことで認識のギャップを埋める

●図 家族が医療者の場合のポイント

た時、2種類の役割の両方を求められる葛藤にさいなまれていることが多いのだ。冒頭のようなCASEでは、つい医療者である家族との対立構造になりがちだが、まずは家族としての医療者の苦悩に共感することが求められる⁴⁾。「このような話はいくら現場で経験したとしても血のつながった親となったら別ですよ」「複雑な気持ちになるのではないかと思います」といったように、相手の感情を引き出し、医療者の鎧を脱いでもらうことは重要だ。

配慮するポイントを押さえる

では、家族に医療者がいた場合、何に留意すべきか。コミュニケーションの成功の鍵は相手を知ることにある。医療者の職種や専門などの背景について好奇心を持って聞くこともその1つだ。医療は専門分化が進んでおり、医療者の背景もさまざまだからである。手術室看護師と小児科クリニックで働いている看護師では知識量も経験も全く違う。また、病院によっても文化や常識が異なることがある。筆者は以下のような言葉かけをすることがある。

- 医療者がご家族にいるのはわれわれにとってもありがたいことですし、本人にとっても心強いことだと思います。ちなみに、普段はどちらで働いていますか?
- 今は専門が分かれているので、あまりこうした経験は少ないかもしれませんが。
- ご家族が働いている病院では、こうした治療はよくされていますか?

言いたくなくさそうな場合には無理に聞き出さなくても良いが、こうした声かけで相手を知ることによって先方の認識がより明確になり、懸念事項もわかる。

また、医療者である家族がどの程度意思決定にかかわりたいかを把握する必要がある。現場の医療者や普段介護をしている家族に任せる人もいれば、多くの情報をなるべく把握し、医療者として自分で意思決定したい人もいる。後者の場合、お勧めの治療方針を伝えても相手が納得しないこともあるので注意したい。血液検査所見や容態が悪化したといった断片的な情報だけが家族間でシェアされ、患者の全体像を把握せずに治療方針を検討していることがよくあるからだ。また職場の医

療者からの意見を聞き不安を募らせていることもある。医療者である家族が意思決定権を持っているケースでは、相手と直接話して懸念事項を教えることや患者の具体的なADLなどの生活状況を伝え、実際の様子を見てもらうと、治療方針に納得される場合もある。

CASEのその後

医師である長男に折り返しの電話をかけて背景を聞くと、遠方で麻酔科の医師をしているようであった。家族としての医療者の苦悩に共感すると、「そうなんです。ずっと仕事が忙しくて最近実家に帰ることもできず、親孝行することもできなくて。人工呼吸器さえつけばなんとかなるかと思って」とのこと。現在の治療内容とADLについて伝え、「見捨てるわけではなく、苦しくない範囲の治療は継続する」と告げると、「しっかりした医療者に見てもらっていることがわかって安心した」と納得した様子であった。

看護のPOINT

- 患者の家族に医療者がいて先方と意見が対立した際は、施設側の医療者が自らの陰性感情に気づいて相手と対話することに向き合おう。
- 医療者である家族は「家族」と「医療者」の双方の役割が求められている。一人の家族としての医療者の苦悩に対する共感を忘れずに。
- 医療者である家族がどの程度意思決定にかかわりたいかを把握する。

註:自分にとって核となる道徳的価値観に反する決定や行動を強いられる時、それを目撃したりした時に生じる心理的な害。やるべきことがわかっているのにそれができない時に起こる苦しみ⁵⁾。

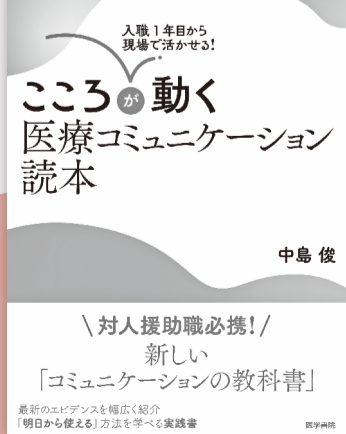
●参考文献・URL

- 1) BMC Nurs. 2023 [PMID : 37496000]
- 2) Virtual Mentor. 2012 [PMID : 23351205]
- 3) West J Med. 2001 [PMID : 11577049]
- 4) Robert A. FAST FACTS AND CONCEPTS #131 THE PHYSICIAN AS FAMILY MEMBER. <https://x.gd/yLVN2>
- 5) BMJ. 2021 [PMID : 33419774]

医学書院 Webセミナー 無料

対人援助職が知っておきたい! 明日から活かせる 「医療コミュニケーション」

参考図書



日時
2024年4月12日(金)
18:00~19:30

*上記リアルタイム配信後、約1か月間アーカイブ配信を予定。

講師 中島 俊 先生
筑波大学国際統合睡眠医学研究機構 (WPI-IHS)

対象 医療者全般

受講料 無料



“木原ライブラリー”最新刊! ミクストメソッズを実践に生かすには?

新刊 **ミクストメソッズ:質・量統合のパラダイム**
その理論と健康科学分野における応用と展開
Mixed Methods in Health Sciences Research: A Practical Primer

▶質的方法と量的方法を組み合わせて行う研究手法「ミクストメソッズ(mixed methods)」に関し、健康科学分野に特化し解説。2つの方法を同時的・逐次的に組み合わせるがゆえに、とすれば複雑になりがちな理論面の記述は簡素化。明快な図表と具体的研究事例を提示し、ミクストメソッズがどのように応用できるか、現場の実践につながる真に必要な情報のみを凝縮。当該領域の研究者がミクストメソッズ研究を計画し実践する上でのガイドラインとなりうる書。

監訳: 木原正博・Murray J. Lawn・木原雅子

定価5,280円(本体4,800円+税10%)
B5 頁344 図30 2024年
ISBN978-4-8157-3094-9

MEDSI メディカル・サイエンス・インターナショナル
113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
TEL.(03)5804-6051 <https://www.medsi.co.jp>
FAX.(03)5804-6055 Eメール info@medsi.co.jp